

住まいと 地域との 新たな連携



2015年11月20日[金] 18:30~20:30 [開場18:15]

会場 | コンファレンススクエア エムプラス「グランド」
〒101-0005 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10F
☎03-3282-7777 <http://www.marunouchi-hc.jp>

定員 | 100名 参加費無料

主催 | 一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団
〒105-0011 東京都港区芝公園2-11-17 芝公園下山ビル4F
☎03-6809-1408 (土日祝日を除く 午前9時半~午後5時半)
<http://www.hc-zaidan.or.jp>



ハウジングアンドコミュニティ財団は、豊かな住環境の創造に貢献することを目的として、1992年に設立されました。

「住まいとコミュニティづくり活動助成」は、財団の自主事業として1993年に開始したまちづくりNPOへの活動助成プログラムで、これまでに延べ331団体に助成を行ってきました。

2016年度の公募[応募受付期間：2015年11月24日(火)～2016年1月20日(水)必着]に当たり、助成事業の説明を行うとともに「住まいと地域との新たな連携」を主題とする講演と鼎談を行います。応募をお考えの方をはじめ多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

プログラム

1. 開会挨拶

鈴木輝隆 | 住まいとコミュニティづくり活動助成選考委員長

2. 助成事業の説明

久田見卓 | 財団事務局長

◎ 応募の一般的説明

◎ テーマ募集

◎ 来年度「住まいと地域との新たな連携」への応募への期待

3. 鼎談「住まいと地域との新たな連携」

働き方の多様化、単眼では捉えきれない子育て・育ち、
射程に入った2025年問題＝大都市の超高齢化、
増える高経年マンション、住宅と土地の過剰……。

家族と社会の変容の中で、住まい方も様々に変わってきているでしょう。

住まいと地域との連携の意味も、連携の仕方も、また様々に変わります。

そのような認識のもと、「住まいと地域との新たな連携」の新しい芽を具体的事例の中で見てみます。

まず、状況に詳しいお二方から報告を願い、さらに鼎談で議論を深めていきます。

報告や討議から、来年度に応募が期待される

「住まいと地域との新たな連携」のイメージが浮かび上がってくれば幸いです。

(1) 「世田谷における住まいと地域の連携／事例から」

浅海義治 | (一財)世田谷トラストまちづくり トラストまちづくり課 統括課長

(2) 「事例からみる地域との連携／社会性と事業性」

浦田慶信 | (株)生活科学運営 代表取締役社長

(3) 鼎談

浦田慶信(前掲) × 浅海義治(前掲) × 高見澤邦郎(財団理事長)

4. 閉会挨拶

鈴木輝隆(前掲)

お申込み

11月13日(金)までにホームページでお申し込みいただくか、

ファクシミリで参加申込書をお送りください。

*お送りいただいた情報は、今回の会合に関わる目的以外には使用いたしません。

FAX用参加申込書

※切り取らずにこの面をそのままFAX用参加申込書としてお使いください。

お名前

ご所属

ご連絡先 TEL

E-Mail

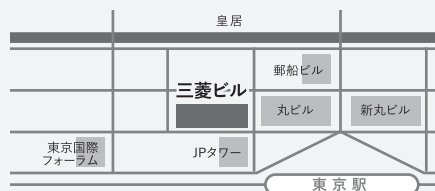
アクセス

● JR

「東京駅」(丸の内南口)より徒歩2分、
京葉線「東京駅」10番出口より直結

● 地下鉄

丸ノ内線「東京駅」地下道経由より徒歩約3分、
千代田線「二重橋駅」4番出口より徒歩約2分、
都営三田線「大手町駅」D1番出口より徒歩約4分、
東西線「大手町駅」B1出口より徒歩約6分



FAX番号 03-6809-1438
一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団宛